

高校生によるポスター発表について

- 平成 30 年度 化学系学協会東北大会にて研究成果の発表をされる高校教諭、生徒の皆さんへのお願い -

日本化学会東北支部・化学教育研究協議会東北大会
世話人 秋田大学教育文化学部 岩田吉弘

化学系学協会東北大会・化学教育研究協議会東北大会へようこそ。自然科学の研究発表は、自由と平等のもとで行われています。皆さんは研究者が運営する学会で、研究成果を発表する栄誉を得ることができます。一方、常に誠実さを保ち、責任を果たさなければいけません。

このページでは、学会の世話人から皆さんへ、参加・講演申込から、発表についてのガイダンスを[日本化学会東北支部の各種申込の Web ページ](#)にそっておこないます。

よくある疑問点についての Q&A を付けましたので参考にしてください。また世話人の連絡先を記しましたので、不明な点がございましたらお気軽にお尋ねください。

なお、個人情報の取扱は、[日本化学会プライバシーポリシー](#)を遵守します。

1, 事前参加登録

- ・ [事前登録専用サイト](#) から参加者一人ひとり登録してください。
- ・ 事前参加登録がないとポスター発表の講演登録ができません。
- ・ 引率として参加される高校教員は化学教育への事前登録をお願いします。引率依頼状及び学校長宛の引率教員派遣依頼状が必要な場合は、日本化学会東北支部事務局までご連絡ください。
- ・ 高校生は、所属機関（大学/勤務先）に高校名、所属機関（学部/部署）に普通科、理数科等の学科と学年を入力してください（例 理数科 2 年）。
- ・ 連絡先は勤務先を選択し、高校の住所、電話番号を入力してください。
- ・ メールアドレスは、皆さん個人のメールアドレスを入力してください。PC やタブレットでメールを受信できるアドレスを推奨します。発表する場合は、講演申込のページで研究指導にあたる高校教諭のメールアドレスの入力をお願いしています。
- ・ 参加登録 ID とパスワードは必ず控えてください。修正や講演申込で必要になります。

2, 講演登録申込

- ・ [講演登録申込フォーム](#) から 1 講演ずつ登録申込してください。
- ・ 参加登録の内容を確認してください。
- ・ はじめに HP の <日本語入力欄について> <英語入力欄について> をよく読んでください。
- ・ 高校生が講演する場合は、講演者の所属学協会はその他を選択し、入力欄に高校名を記入してください。日本化学会の中高生会員の方は、日本化学会もチェックしてください。
高校教諭が講演する場合は、化学教育協議会を選択し、入力欄に高校名を記入してください。日本化学会等の学協会に所属している場合は、所属学協会もチェックしてください。
- ・ 発表形式は、一般講演ポスター（化学教育を含む全分類）を選んでください。
- ・ 一般ポスターの分類では、H. 化学教育を選択してください。A. から G. の専門分野で発表することもできます。これらの分野を選択したい場合は Q-3 をよく読んでください。
- ・ 学生ポスター賞審査希望をチェックしてください<推奨>。
- ・ 講演の演題名は、H. 化学教育を選択した場合は日本語 50 字以内、A. から G. の専門分野を選択した場合は英語<推奨> 100 字以内で記入してください。
- ・ 著者の所属機関の正式名称の二段目はオプションで理数科、理数探究コース等を記入してください。ここで学年の記入は不要です。所属機関（略名）は○○高校と記入してください。
- ・ 著者名欄の講演者のチェックは 1 名のみです。
- ・ 著者名の英語の綴りは、パスポート等で用いられるヘボン式ローマ字に準拠してください。
- ・ 講演登録申込期間内であれば、入力項目の修正、キャンセルは可能です。それ以後の修正は原則できません。

以下の項目は、6 月以降に記載予定です。講演登録者へメールにて連絡いたします。

3, 要旨記載方法

4, ポスター発表方法

.....
連絡先 秋田大学教育文化学部 英語・理数教育講座 岩田吉弘

iwata★gipc.akita-u.ac.jp (★を@に変えて送信してください)

Q&A 集

Q-1 高校生は参加費が無料なのに、なぜ事前登録が必要なのですか。

A-1 プログラムや発表の要旨が印刷された講演予稿集を準備します。申込参加者全員に確実に配布するために事前登録をお願いしています。またネームプレートを準備できますので、当日の受付がスムーズになります。もし、参加できなくなった場合は、[各種申込ページ](#)のとおり手続きをしてください。

Q-2 スーパーサイエンスハイスクールの発表会と同じ内容で発表したいのですが、可能ですか。

A-2 講演登録申込の際には、演題名、発表の分類、著者をふくめ、必ず研究指導にあたる高校教諭の助言をあおいでください。学会発表とは、新たな科学的事実、知見を公表する場です。すでに学会等で公表された内容をまるごと重複して発表することは、原則認められません。一方、学校内の発表会など一般に公開されず、発表内容の秘密が保持されている場合はその限りではありません。学会側は、スーパーサイエンスハイスクールの発表会や高校生向けの理科研究発表会などが、後者に属するものかどうか、残念ながら判断できません。

Q-3 ポスター発表の分類を A.から G.の専門分野としたいのですが、可能ですか。

A-3 可能です。選択した分野での専門的な発表をおこなうことができ、専門分野の研究者とともに研究内容について議論をおこなう貴重な機会になります。なお、A.から G.分野の発表では、[英語化のディレクション](#)がありますので、準じてください。また、予稿集の要旨のスペースは、A4 の 1/3 となります。一方、化学教育で登録すると日本語 A4 で 2 ページまでとなります。このように、発表の環境が違いますので、分類の選択は慎重に判断してください。

Q-4 ポスター発表なのに、なぜ「著者の所属機関」とされるのですか。

A-4 発表の形式やその後の印刷公表の有無などにかかわらず、学会での成果発表は学術論文つまり academic paper の扱いになります。このため皆さんは「著者」となります。

Q-5 この研究を進めるときに、大学にお世話になりました。著者の中に大学の教職員を加える必要がありますか。

A-5 著者には、研究の設計、データの解釈と考察、発表の作成といった、直接的かつ重要な寄与をした人があたります。大学や研究機関等に所属する研究者がこのような関わりを持った場合は著者に加えてください。また、研究のためにサンプルの提供や化学分析等を依頼した場合も、その人々に感謝するために、発表のポスターに謝辞を記載することを勧めます。

Q-6 ポスター発表はグループでおこなうので、講演者として複数の人にチェックを入れ登録したいのですが、可能ですか。

A-6 著者として登録している人は、だれでもポスター発表に加わることが出来ます。講演者のチェックは、この研究に最も重要な寄与をした主著者を明示するためのものです。主著者は学会発表において榮譽を得ることができると同時に、責任も負うこととなります。

Q-7 所属機関の登録で学年の記入が不要なのは、なぜですか。

A-7 学会は研究者が平等な立場で成果を公表します。このため、論文に教授や講師はもちろん、生徒、教諭あるいは学年といった記載は必要がありません。

Q-8 著者名の英語の綴りはヘボン式ローマ字を推奨するのは、なぜですか。

A-8 日本語名と英語名は研究者としての ID となります。このため英語名は認められた日本語のローマ字表記であるヘボン式を推奨します。具体的にはパスポート取得のための公式ホームページを参照してください。もし、皆さんのなかで、すでに学会発表や論文でご自身の名前を英語で記載した場合は、その表記が ID となります。表記法にかかわらず、変更せずに今回も使ってください。

Q-9 あまりパソコンを用いてメールをチェックしないのですが、大丈夫でしょうか。

A-9 皆さんの情報、連絡手段は SNS 主流でしょうが、研究や学会活動ではメールが広く用いられています。これを機会に電子メールを活用してください。念のため、備考欄に研究指導されている先生の氏名、PC メールアドレスの記入をお願いします。ご協力お願いします。

Q-10 保護者が発表の様子を参観したいと希望しています。どのようにしたらよいでしょうか。

A-10 保護者の参観は歓迎します。報道関係を含め、学会活動に直接かかわらない方の登録、受付は、別途おこなっています。保護者が参観を希望される場合は、備考欄に保護者参観希望と記載してください。こちらから個別に連絡いたします。また、登録後に参観希望となった場合はすみやかに世話人までメールにてお知らせください。

Q-11 先生が私達生徒と一緒に自家用車で会場の秋田大学まで来たいと希望していますが、駐車場はありますか。

A-11 公共の交通機関でのご来場をお願いしています。事情がある場合は個別に対応いたします。備考欄への記載あるいは、世話人あてのメールにてお知らせください。なお、会場外での事故等への対応はできかねますので、ご承知おきください。

Q-12 登録した講演の演題名を修正したいのですが、可能ですか。

A-12 登録期間以降は、原則修正は受け付けていません。登録期間内であれば、キャンセルを含め修正は可能です。大会側は登録締切後、直ちにプログラムの編成をおこない、会場や要旨集編集の準備にとりかかります。また、プログラムが公開されると、研究の成果を公表する宣言となります。やむをえない事情があるかもしれませんが、発表取り止めや演題名の修正等は、研究者として不名誉なことになります。

今後も科学の研究を進めていく皆さんには、大学院生向けですが、次のテキストを一読されることを勧めます。

「科学者をめざす君たちへ 研究者の責任ある行動とは」第3版、米国科学アカデミー編/池内了訳、化学同人（2010）

原典 On Being a Scientist: A Guide to Responsible Conduct in Research: Third Edition

[The National Academies Press \(NAP\)からフリーダウンロード可能](https://www.nap.edu/)

<https://www.nap.edu/> 検索に 12192 を入力